|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **TU dresden** | http://www.baumev.de/global/images/logo.png |
| **日本・ドイツ共同研究プロジェクト****「日本・ドイツ企業における経営管理と環境マネジメントの関係に関する国際比較研究」【環境マネジメント調査】** |
|  | **Edeltraud Guenther****ドレスデン工科大学****環境管理・会計専攻 教授****ドイツ** |  | **國部 克彦****神戸大学大学院****経営学研究科長 教授****日本** |
| **貴社名及び部署名** |  |
| **記入者名** |  |
| **住所** |  |
| **E-Mail** |  |
| **報告書送付について** | 1. E-mailでの送付を希望する　 | 2. 郵送での送付を希望する | 3. 希望しない |
| * **本調査の特色**
 |
| ・貴社の経営管理と環境マネジメントの実態に関して，回答者ご自身の評価・見解に基づきご回答ください。・本調査は，成功企業における経営管理および環境マネジメントへの取組みを明らかにすることを目的としています。・ご回答企業には，ベンチマークとしてご活用いただくため，ご希望により報告書を送付させていただきます。またデータの分析完了後，ベストプラクティスを共有するためのワークショップを開催する予定です。 |
| * **本調査の考察内容**
 |
| ・本調査は，ドレスデン工科大学（ドイツ）と神戸大学（日本）の国際共同研究プロジェクトです。・本調査では，環境保全活動を一層推進するために，企業がいかに経営管理に環境マネジメントを統合することができるかについて考察します。 |
| * **調査票のご回答にあたって**
 |
| ・本調査票のご回答にあたって，20分から30分程度かかります。・この調査には，正しい答えや間違った答えがあるわけではございません。貴社の現状に対する貴殿の評価に基づきお答えください。・該当欄の□に☑または■（塗りつぶし）をお願いします。・ご記入いただいた調査票は郵送，メールまたはファックスにてご返送ください。・本調査についてご不明な点がございましたら，下記の連絡先までご連絡願います。 |
| * **ご返送上のお願い**
 |
| ・ご記入いただいた本調査票は同封の返信用封筒にてご返送ください。・ご記入済みの質問票は，**2015年7月15日（水）**までにご投函・ご送付いただきますよう，宜しくお願い申し上げます。・郵送先：657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学大学院経営学研究科　國部克彦研究室・Tel: 078-803-6952; Fax: 078-803-6977; E-mail：mohnishi@dolphin.kobe-u.ac.jp（事務担当/大西）・質問票の電子ファイルはサイト http://www.b.kobe-u.ac.jp/~kokubu/menu6.htmlより入手可能ですので，ダウンロードのうえ，上記へEmailでお送りいただいても結構です。 |

|  |
| --- |
| **A) 会社組織体制** |
| 貴社は，特定の企業グループに属する**子会社**ですか？ |
| 1. はい | 2. いいえ | **「はい」**とご回答の場合は，以下の質問について，グループ会社全体ではなく，貴社の状況に基づいてご回答ください。また，会社全体について回答することが難しい場合は，貴社の最も大きな事業単位（売上高順）を対象にご回答ください。 |

|  |
| --- |
| **B) 記入者所属** |
| 下記の**職位・職責**について，どれに当てはまりますか？（複数選択可） |
| 1 | 経営トップ(CEO)または役員 | □ |
| 2 | 環境マネジメント責任者 | □ |
| 3 | 最高執行責任者(COO) | □ |
| 4 | その他  | \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_ |
| 5 | 現在の職位での在任期間をご回答ください。上記１~４で複数回答された場合はその職位・職責をお書きください。 | \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_ |
| 6 | 貴社における勤続年数をご回答ください。 | \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_年 |
| 7 | 他社での経験も含めて，現在の職位における在任期間をご回答ください。 | \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_年 |

|  |
| --- |
| **C) 一般情報** |
| 1 | 貴社の最も大きな事業単位において，最も関連する企業間**取引のタイプ**を選択してください。 | 1. BtoB　　□(Business to Business)（顧客は主に企業） | 2. BtoC □(Business to Customer)（顧客は主に最終消費者） | 3. BtoB とBtoC □の両方 |
| 2 | 貴社の最も大きな事業単位にとって，**現在の最も重要な市場**を選択してください。 | 1. 国内 | □ | 2. 海外の特定地域 （例えば，アジアまたは 　　□ヨーロッパのみ） | 3. グローバル　（全世界的） | □ |
| 3 | 貴社の最も大きな事業単位において，**顧客市場の競争状況**を選択してください。 | 1. 独占的 | □ | 2. 寡占的 | □ | 3. 競争的 | □ |
| 4 | 貴社の全社において，環境関連の活動を**主たる業務内容**とする正規社員は約何名ですか？ | 約 \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_ 名　 |

|  |
| --- |
| **D) 環境マネジメントシステムと情報開示** |
| 貴社は下記の取組みについて，どの程度実施していますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く行っていない | どちらとも言えない | 非常に積極的に行っている |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | ISO14001に相当する環境マネジメントシステムの導入を進めている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 環境報告書（CSR報告書やサステナビリティ報告書等を含む）を発行し，環境情報を開示している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **E) ステイクホルダーの重要性** |
| 貴社の環境マネジメントにおいて，以下の**ステイクホルダーの重要度**について評価してください。最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く重要でない | どちらとも言えない　 | 非常に重要である |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 地域社会（例えば，市町村や地域住民） | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | バイヤー（例えば，購買部門の担当者または責任者）  | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 消費者（製品やサービスの最終消費者） | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | サプライヤー | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 監査役 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 銀行 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | 投資家/株主 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 8 | 従業員 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 9 | 労働組合 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 10 | NGO | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 11 | 業界団体 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 12 | 政府機関 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **F) 環境マネジメント** |
| 過去3年間の貴社の**環境マネジメント**に関して，以下1~13の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く異なる | どちらとも言えない | 　全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 環境マネジメントを経営戦略の1つとして認識している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 環境マネジメントをリスクマネジメントの課題の1つとして認識している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 環境パフォーマンスは，報酬システムにおいて重要である。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 環境パフォーマンス目標は，計画システムに含まれている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 環境パフォーマンス指標は従業員の評価において，経済パフォーマンス指標と同等で重要である。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 環境配慮型製造プロセスまたはサービス提供プロセスを導入する能力を持っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | 環境問題に対して，組織イノベーション注1を起こす能力を持っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 8 | 環境配慮型製品またはサービスを開発する能力を持っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 9 | 環境配慮型システムイノベーション注2を起こす能力を持っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 10 | 環境配慮型製造プロセスまたはサービス提供プロセスは，すでに十分に展開されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 11 | 環境問題に関する組織イノベーションは，すでに十分に展開されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 12 | 環境配慮型製品またはサービスは，すでに十分に開発されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 13 | 環境配慮型システムイノベーションは，すでに十分に展開されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

注1.「組織イノベーション」とは，企業の体制またはプロセスにおける変革です。

2.「システムイノベーション」とは，いくつかのイノベーションのタイプ（製品イノベーション，プロセスイノベーション，組織イノベーション）が
結合したものです。

|  |
| --- |
| **G) 価値観と行動規範**  |
| 過去3年間の貴社の**環境に対する価値観や行動規範**に関して，以下1~10の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く異なる | どちらとも言えない | 全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 当社の伝統，価値観および行動規範は，環境マネジメントを実施するときに重要な役割を果たしている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 環境マネジメントを実施するための非公式の行動規範を従業員と共有することを非常に重視している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 当社の企業理念では，当社の環境に関連する中心的な価値観（例えば，企業理念）を従業員に明確に伝達している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 経営トップは，当社の環境に関する中心的な価値観を従業員に伝えている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 従業員は，当社の環境に関する中心的な価値観を理解している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 従業員は環境イニシアチブを促進するための当社の企業理念に示されている環境の価値観を認識している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | 従業員の適切な行動を定義した環境マネジメントのための行動規範（例えば，コンプライアンスガイドライン）を活用している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 8 | 環境マネジメントの行動規範は，望ましくない行動についての情報を提供している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 9 | 従業員に回避すべき環境リスクを伝達するシステムを構築している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 10 | 従業員は当社の環境方針を認識している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **H) 環境情報システム** |
| 過去3年間の貴社の**環境情報システム**に関して，以下1~6の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く　異なる | どちらとも言えない | 全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 将来事象（例えば，新しい環境規制）に対応するための環境情報は，環境情報システムに反映されており，利用可能である。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 当社および事業部外のより広範囲の要因（例えば，技術の発展，業界における最高レベルの環境パフォーマンス）に関する環境関連情報は，利用可能である。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 将来事象（例えば，新しい環境リスク）の発生可能性は，定量化されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 環境問題は，5-10年間単位の長期の戦略的プランニングに組み込まれている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 環境パフォーマンスに影響する事象の発生とそれに関連する情報の報告の間に遅れが発生していない。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 非経済的情報（例えば，環境問題に対する従業員の態度や顧客の判断傾向）は，環境情報システムで利用可能である。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **I) 環境に関する意思決定** |
| 過去3年間の貴社の**環境に関する意思決定**に関して，以下1~14の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く　異なる | どちらとも言えない | 全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 経営トップは密接に環境マネジメントに関わっている。  | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 投資意思決定において，環境基準が考慮されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 環境問題は，定期的に公式と非公式のミーティングで議論されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 中間管理職は，環境問題に挑戦するための十分な裁量権を持っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 従業員は，生産プロセスや製品サービスにおける環境に関連する改善について提案することを奨励されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | すべての従業員は，環境問題について提案することを奨励されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | 様々な部門や職能領域のスタッフが，チームで環境問題に取り組んでいる。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 8 | 製造またはサービス提供段階において，環境問題を管理するために作業チームを組織している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 9 | 環境パフォーマンス指標は，定期的に環境目標と比較されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 10 | 環境情報は，従業員に自動的かつ定期的に提供されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 11 | 環境関連の規制やガイドラインは，十分に文書化されている。  | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 12 | 環境課題は詳細に文書として記述されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 13 | 排出量は環境規制値を超えた時に測定される。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 14 | 外部環境コミュニケーションのガイドラインは適切に設定されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **J) 環境管理会計** |
| 過去3年間において，貴社は以下の**取組み**について，どの程度実施していますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く行っていない | どちらとも言えない | 非常に積極的に行っている |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 環境関連コスト注3の識別 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 環境関連偶発債務の推定 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 環境関連コストの分類 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 製造プロセスまたはサービス提供プロセスへの環境関連コストの配賦 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 製品またはサービスへの環境関連コストの配賦 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 環境関連コストマネジメントの導入または改善 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | 環境関連コスト会計書類の作成と活用 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 8 | 環境関連KPI（主要業績指標）の展開と活用 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 9 | 製品またはサービスライフサイクルコスト注4の評価 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 10 | 製品またはサービスライフサイクルインベントリ分析注5 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 11 | 製品またはサービスの環境インパクト分析注6（法律で要求されていない場合） | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 12 | 製品またはサービスの環境改善度の分析注7 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 13 | 業務活動のための環境費用（経常費用）の予算編成 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 14 | 業務活動のための環境投資（偶発費用）の予算編成 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 15 | 業務活動のための廃棄物またはリサイクル材からの収益の予算編成 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

注3.「環境関連コスト」とは，企業が自然環境に与えるインパクトが原因で生じるコスト（例えば，公害防止技術のコスト）です。

4.「ライフサイクルコスト」とは，製品またはサービスのライフサイクル全体で生じるコストです。

5.「ライフサイクルインベントリ分析」とは，製品（サービス）またはプロセスについて，ライフサイクル全体を対象として，各段階での投入される
資源を定量的に把握するものです。

6.「環境インパクト分析」とは，1つの計画，政策，プログラムまたはプロジェクトが環境に及ぼす影響の結果を予測するプロセスです。

7.「環境改善度の分析」とは，製品ライフサイクルの各段階におけるエネルギー，マテリアルインプットを削減したり，環境影響を軽減する機会に対する評価です。

|  |
| --- |
| **K) マテリアル分析** |
| 過去3年間において，貴社は以下の**取組み**について，どの程度実施していますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く行っていない | どちらとも言えない | 非常に積極的に行っている |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | マテリアルフロー分析 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | エコ・エフィシェンシー指標 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 物量単位のマテリアル・エフィシェンシー分析 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 貨幣単位のマテリアル・エフィシェンシー分析 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 自社での廃棄物管理のためのコスト分析 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 廃棄物管理の外注に関連するコスト分析 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | 廃棄物またはリサイクル材からの収益の分析 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 8 | 廃棄物となったマテリアルコストの分析 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 9 | マテリアルフローコスト会計注8 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

注8.「マテリアルフローコスト会計」とは，マテリアルの実際の流れを物量単位で評価し，それに関連するコストを計算する環境管理会計ツールです。

|  |
| --- |
| **L)　環境パフォーマンス**  |
| 過去3年間の貴社の以下1~5の環境指標は，**同業他社（業界平均値）**と比較した場合，どの程度であると評価しますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 非常に悪い | どちらとも言えない | 非常に良い |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 直接・間接エネルギーの総消費量 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 水の総使用量 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | CO2等の温室効果ガスの総排出量 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 廃棄物の総量 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 有害廃棄物の総量 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **M) 環境指標の利用** |
| 過去3年間において，貴社は以下1~4の目的のために**環境指標**（例えば，CO2排出量，廃棄物量）をどの程度活用しましたか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く使用していない | どちらとも言えない | 広く使用している |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 環境方針や規制などの遵守状況をモニタリングするため | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 内部意思決定のための情報を提供するため | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 継続的改善を促進するため | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 外部報告のための情報を提供するため | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **N) 人事管理**  |
| 過去3年間の貴社の**採用活動と教育・人材開発活動**に関して，以下1~6の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く異なる | どちらとも言えない | 全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 従業員の採用において，当社の環境に対する価値観や規範に適合するか否かを考慮して慎重に検討している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 環境関連部門への人材を採用するための最適なプロセスを構築するために，多大な努力を実施している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 環境関連業務に対して，最適な応募者を採用することに力を注いでいる。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 従業員に対する環境問題に関する啓発・訓練活動は，非常に重要であると認識されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 当社の従業員は，様々な環境技術を身に着けるための多くの機会を与えられている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 環境目標の達成度は，管理職の昇進の際の重要な条件である。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **O) 環境活動の管理**  |
| 過去3年間の貴社の**環境マネジメント活動**に関して，以下1~7の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。※「上司」とはマネジャー，事業単位のリーダー等を意味します。 | 全く異なる | どちらとも　　言えない | 全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 直属の上司は，部下が環境パフォーマンス目標を達成するための必要な手順をモニタリングしている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 直属の上司は，部下に割り当てられた環境パフォーマンス目標の達成方法を評価している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 直属の上司は，通常の環境業務についての最も重要な作業手順を明確化している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 直属の上司は，部下に対して，環境パフォーマンス目標の達成のため，最も重要な方法に関する情報を提供している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 方針や手続きに関するマニュアルは，環境保全活動の基本的手順を記述している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 部下は，環境目標を達成するための必要な方法について，直属の上司と相談している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | もし目標としていた環境事項が達成できなければ，部下は直属の上司と対応策を検討する。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **P) 環境問題のパフォーマンス管理** |
| 過去3年間の貴社の**環境パフォーマンス管理**に関して，以下1~５の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く異なる | どちらとも言えない | 　全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 特定の環境パフォーマンスに関する目標は部下に対して，個別に設定されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 部下の環境パフォーマンス目標の達成状況は，直属の上司によって管理されている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 環境パフォーマンス目標から乖離する可能性について，責任を持つ部下は説明しなければならない。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 部下は，環境パフォーマンス目標を達成した程度について，直属の上司からのフィードバックを受け取っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 環境パフォーマンス目標の達成度に応じて，報酬・給与が変動するような仕組みとなっている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| Q) 環境パフォーマンス評価システム |
| 過去3年間の貴社の**環境パフォーマンス評価システム**の運用に関して，以下1~3の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く　異なる | どちらとも言えない | 全く　　その通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 経営トップは環境パフォーマンス評価システムに注意を払っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 経営トップは環境パフォーマンス評価システムからの情報を理解している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 部門マネジャーは頻繁に環境パフォーマンス評価システムに関与している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **R) サプライヤーに対する環境側面の重要性** |
| 貴社の環境マネジメントにおいて，主要な**サプライヤーの選択**において，以下1~10の要望をすることは，どの程度重要だと考えていますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く重要でない | どちらとも言えない | 極めて重要である |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 環境規制の法令遵守 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 環境マネジメントシステムの構築（例えば，ISO14001） | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 化学物質のモニタリング | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | CO2排出量のモニタリング | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | 省資源化のモニタリング | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 省エネルギーのモニタリング | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | 廃棄物のモニタリング | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 8 | リサイクルを推進するためのインセンティブシステムの構築またはモニタリング | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 9 | 排水量のモニタリング | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 10 | 環境情報を共有しようとする姿勢 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **S) サプライヤーとの関係**  |
| 貴社の**主要なサプライヤーとの関係**について，以下1~7の項目はどの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く異なる | どちらとも言えない | 全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 環境コミットメントのレベルを重視しながら，サプライヤーの選択を行っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 主要なサプライヤーと環境問題に関する詳細な情報共有ができている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 主要なサプライヤーに対して，環境負荷の削減に関する共通の目標を設定している。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | 主要なサプライヤーは当社との取引関係を維持するために，専属の担当者を配置し，固有な投資（例えば，生産設備，情報システム）を行っている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | サプライヤーが置かれている市場は競争が激しい。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | サプライヤーに関わる環境方針は明確にされている。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | サプライチェーンにおける環境負荷は明確に測定できる。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **T) 低炭素型サプライチェーンに向けての障害** |
| 貴社がサプライチェーンの低炭素化を目指す上で，以下1~10の**障害や課題**について，どの程度当てはまりますか？最も適当と思われる番号にチェックしてください。 | 全く異なる | どちらとも言えない | 全くその通り |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 1 | 当社にとってのコストが高くなる。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 2 | 当社にとっての品質が維持できない。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 3 | 当社にとっての必要な原材料・部品の量が確保できない。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 4 | サプライヤーは環境問題に対する意識が低い。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 5 | サプライヤーは環境投資を行うことが難しい。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 6 | 環境コストを製品（またはサービス）価格に反映させることが難しい。　 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 7 | 複数のサプライヤーが提供する原材料や部品について，環境負荷を把握・評価できない。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 8 | 当社において他部門の協力・支援が得られない。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 9 | 当社のトップマネジメントの協力が足りない。 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 10 | サプライヤーと情報共有が難しい。　　　　 | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

|  |
| --- |
| **U) 備考欄** |
| 環境パフォーマンス尺度や環境マネジメントの利用に関して，ご意見がございましたら，以下にご記入ください。別紙にご記載いただき，返信時に同封いただいても結構です。 |
| \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_ |

ご協力ありがとうございました。